



葉山町

# 議会だより

No.  
**134**  
2018.11.12



平成29年度決算	…	2
定例会報告	…	8
委員会レポート	…	11
一般質問は12人が登壇	…	16

葉山町議会

検索



写真：三子山山系自然保護協議会  
「侍前谷戸復元プロジェクト」

# 決算 全て認定

## 主な事業

### 庁舎維持管理事業

4787万円

通常の維持管理の他、防犯カメラの設置（78万円）を行った。

### 葉山の魅力創生・発信事業 1026万円

観光振興に関する基礎調査委託や「葉山の魅力を高める実行委員会」への補助金交付、庁舎内WiFi環境整備等を行った。

### 交通安全・防犯対策事業 468万円

振り込め詐欺防止装置の購入や、2自治会の防犯カメラ設置費補助等を行った。

### 草津町親善交流事業

63万円

本白根山噴火の影響を懸念し、町内在住・在勤者に対し、草津町に宿泊

するための助成額を、年度末まで小学生1500円、中学生以上3千円に引き上げた。

### 在宅高齢者福祉サービス事業 97万円

短期入所生活介護看取り加算金の交付、逗葉地域医療センターの一部改修（在宅医療・介護連携推進事業のため）等を行った。

### 教育・保育施設検証委員会運営事業 45万円

葉山保育園での重大事故を受けて、再発防止策を検討する検証委員会を設置した。

### 健康増進事業 82万円

糖尿病重症化予防教室や、災害に備えた食生活教室等を開催した。また、人間ドック・脳ドックの費用助成や、健康増進施設の利用助成等を行った。

### 風しん等予防接種事業 11万円

風しんの流行及び発症を予防するため、妊娠を予定している女性や、そのパートナーに対して、接種費用を一部助成した。

### 地場産業・地場農産物振興対策事業 67万円

主にイノシシ対策のため、葉山町鳥獣対策協議会に助成を行い、実施隊員30人を委嘱した。

### 河川維持補修事業 1559万円

下山川支流前田川の河川整備工事を行った。



前田川工事箇所

### 街路整備事業 4783万円

町道一色下山口線の道路整備工事を行った。



町道一色下山口線

### 防災資機材備蓄食糧整備事業 342万円

指定避難所となる小中学校に避難所開設用物品、マンホールトイレ用便座等を整備した。

### 防災対策強化事業 2281万円

防災リーダー研修、感震ブレイカー300台購入、三ヶ岡緑地津波避難路工事等を行った。

### 小学校耐震整備事業 2215万円

葉山小学校体育館天井等の耐震化工事を行った。

### 中学校管理事業 1億4008万円

南郷中学校防火シャッター、葉山中学校トイレグラウンド整備等の工事を行った。

### 図書館運営費 5966万円

外壁等改修工事、冷水機設置等を行った。

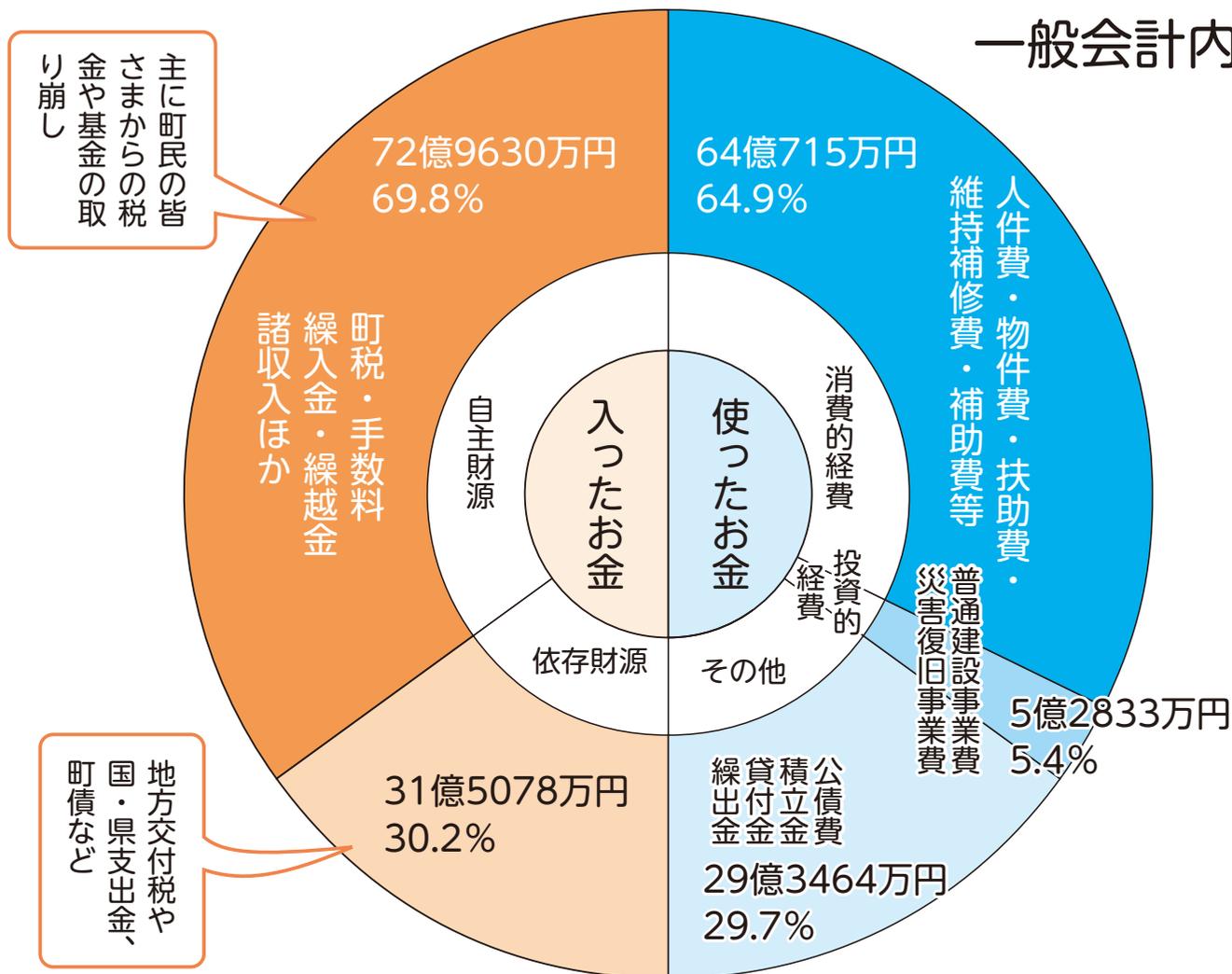


三ヶ岡津波避難路

# 平成29年度

一般会計歳出 98億7013万円 (前年比プラス2.5%)

## 一般会計内訳



### 葉山の魅力を高める実行委員会 (517万円)

今回の決算審議で最も時間を費やしたのは「葉山の魅力を高める実行委員会」についてでした。

3年計画で、国から地方創生のための補助を受けている事業の初年度です。

3年が経過した後に自立した事業になれるよう、町のリードが必須です。

### 特別会計歳出決算額

国民健康保険	39億2938万円
後期高齢者医療	9億3355万円
介護保険	27億4240万円
下水道事業	13億5553万円
<b>合計</b>	<b>89億6086万円</b>

### 町債残高 (町の借金)

一般会計	57億5118万円
下水道事業特別会計	73億3401万円
<b>合計</b>	<b>130億8519万円</b>

### 基金残高 (町の貯金)

財政調整基金	9億724万円
公共公益施設整備基金	9億7861万円
ふるさと葉山みどり基金	8761万円
教育基金	1000万円
国民健康保険事業運営基金	1029万円
介護保険給付費支払基金	2億4293万円
<b>合計</b>	<b>22億3669万円</b>

※詳細は町ホームページ「財政・財産」からご覧いただけます。



# 決算審議総括質問

## 5人が質問しました

### 歳入

**金崎** 県支出金7千万円減額の要因は。

**部長** 2つの整備事業が28年度に終了したため。

### 公共施設

**飯山** 公共施設が、財政面で長期的影響を及ぼすことは既に明確である。

当町では敷地面積の84・7割、床面積の59・6割を学校教育施設が占めるため、当該施設の戦略的な扱いが求められる。解決の道筋となる学校教育施設について、大規模改修・建て替え更新の費用



葉山中学校の屋上

試算を行ったことはあるか。

**部長** 詳細に費用算出を行ったことはない。まずは平成31年度に予定している劣化状況診断に着手し、人口動態等の将来予測、他自治体の先進事例を参考にするなど進めたい。

**飯山** 公共施設白書の試算では、大規模改修と建て替え更新の合算で算出している。学校施設の大規模改修は完了しているのか。

**部長** 葉山中学校以外は、大規模改修等のメニュー

で交付金を受け、修繕した経緯がある。

### 災害対策

**待寺** 大規模自然災害が発生する度に、市民への情報不足が指摘されるが。

**部長** 重層的にさまざまな手段で周知を図るが、

正常性バイアス（自分は大丈夫と思う心理）に意識が強くかかるので、町内会の避難訓練の際には、皆で逃げようとの訴えかけを常日頃より行いたい。

**待寺** 昨今の集中豪雨の発生状況からも、護岸の状況も含め河川全般の総点検が必要だと考えるが。

**部長** 町管理では、前田川・戸根山川・桂川が住宅地に隣接し、被害が発生する可能性があることを認識している。可能な限り

川底の状態や護岸の状況をチェックし対策を図る。

**待寺** 突風の発生が頻発する昨今、資源ステーションの危険性を懸念する。

検討課題とすべきだが。

**部長** 簡単に飛んでしまふことは容易に想像できない。固定することができない場所と承知している

ので、今後どのような形が取れるのか検討したい。

**窪田** ブロック塀撤去の補助制度は、撤去のみでも対象にすべきでは。

**部長** 国・県の動向を見ながら要綱改正を考える。**窪田** 土砂災害時、長柄小学校までの避難路は危険ゾーンだ。住民周知を。

**部長** 訓練時にも確認していたら周知していく。**窪田** 安定ヨウ素剤は指示後すぐ服用できるのか。

**部長** 庁舎防災倉庫に保管している。

### ふるさと納税

**金崎** ふるさと納税に係る町としての収支は。

**部長** 納税額は1960万2千円。控除額は4493万5千円。マイナスである。

**近藤** ふるさと納税は約2500万円の赤字。28年度は約800万円。国に制

度の廃止を求めると共に、町民に実態を示し、ふるさと納税をしないようアピールしたかどうか。

**町長** 何とかお付き合いしていくしかないと思う。

### 機構改革

**金崎** 機構改革の振り返りの結果は。

**部長** ローカウンター化で来客に気付かないとの意見もあり、検討する。



ローカウンター化した窓口

組んでいきたいと思う。

**金崎** 逗子・鎌倉両市とのごみ共同処理は。

**町長** 連携は大事だが、コストや環境負荷など葉山町を優先に考える。

### 町民との協働

**近藤** 監査委員による決算審査意見書の結びに「協働を推進し」「町民との十分な意思疎通に留意し」と述べられている。町民との協働について伺う。

**町長** 協働がまだまだ足りないことは、十分承知している。今後、丁寧な運営を心がける。

### 生活再建型徴収

**近藤** 28年の監査意見書で指摘された、税・保険料徴収の、生活再建型の

取り組みについて触れていたが、その成果は。

**部長** 勉強になった。さまざまな機関との調整も必要だ。30年度に研修をして、議論を深めたい。

### 放課後児童健全化事業

**窪田** 町の学童保育対象は3年生まで。高学年は民間を利用するしかない。利用料補助が必要では。

**部長** 時間をかけて取り

## 鳥獣被害

**窪田** イノシシ対策は、捕獲数増加もあり、補助内容の再検討が必要では。  
**部長** 町だけでなく、国も補助を行っている。

# 決算特別委員会審査報告

鈴木道子委員長のもと、笠原俊一副委員長、横山すみ子、飯山直樹、近藤昇一、待寺真司の各委員が、9月14日から6日間審査を行いました。最終日には、町長・教育長質問を行いました。

**魅力創生事業**  
**金崎** 葉山の魅力を高める実行委員会では、地方創生の仕掛けを作るのか。  
**町長** 責任と負担が大きいのではないと思慮している。

## 町長・教育長質問

### 海岸の規制

**金崎** 海岸規制の状況は。  
**町長** 30年度にバーベキュー禁止エリアを設定。

### 「葉山の魅力を高める実行委員会」補助事業

**問** 地元への説明が、遅かったのではないか。  
**答** もっと早く行うべきだった。再度、説明会を開く予定だ。

が過ぎても続けるなら、正式な書面が必要だ。  
**答** 大和側の事情もあるが、年内にも再度交渉する。  
**問** 将来、自立した事業になる展望は。  
**答** 平成31年度中に何とかしたい。

### 在宅医療

**金崎** 在宅医療の推進は。  
**部長** 逗子市と共に切れ目ない提供体制をとる。

### 介護保険特別会計

**窪田** 包括的支援事業、介護予防事業は大きな額だが事業内容が分かりにくく効果測定できないが。  
**部長** 地域福祉の仕組み作り等に取り組んでいる。

**問** 土地の境界線や作業内容等が未確定のまま、NPO法人が開墾を始めたことになっているが。  
**答** 担当課と協議する。事務局は政策課だが、人手不足なので、人員体制は強化したい。

**問** 地主である大和ハウスとの協定書はあるのか。補助金をもらえる3年間



唐木作の棚田予定地

## 国際姉妹都市ホールドフアストベイとの交流

**問** 平成29年度中に、継続か否かの意志決定をするはずでは。  
**答** 中学生等から交流を希望する声はあるが、お互いに積極的交流の意志はない。当面、現状維持でいいのではないか。町長交代時には、挨拶の文書を送っている。

**公共施設等総合管理計画**  
**問** 職員だけで作るのではなく、策定委員会の意見を求めるべきでは。  
**答** 今後は助言をもらおう。平成31年度の老朽化調査等を受け、32年度に実施計画の見直しを行う。

**問** どこまで住民との協働を目指すのか。  
**答** 町民に現状を理解していただく必要がある中で、議論の機会は大事だと思う。

### 海水浴場の規制

**問** 2年前には死亡事故があった。根拠になる条

例があれば、警察も取り締まりしやすいのでは。  
**答** 海水浴場ごとに、組合でルールを作ってきた。条例よりも、自主ルールの方が守られやすい。反省会もやっている。飲酒や入れ墨については、さらに検討する。

**問** 海岸の電柱の撤去については、平成32年度の契約更新を待たず、すぐにも検討すべきでは。  
**答** 波で砂浜が削られるので、電柱の埋設は無理だと県に言われ、コンクリート柱にした経緯がある。しかし32年度からの電柱の設置は難しいと、組合には伝えてある。



海岸の電柱

## 空家対策推進事業

**問** 町営住宅の入居を待つ方が多くいるので、空家を利用できないか。  
**答** 空家になるには理由がある。条件のいい物件は、流通に乗せるのが基本だ。集会所にできる物件なら、前向きに検討する。

**問** 不足している介護施設や、託児施設に利用できないか。管理不全の物件も44件ある。町が期限を決めて、家主への働きかけをすべきでは。  
**答** 研究する。

### 町立葉山保育園への看護師の常勤配置

**問** 採用に苦労しているなら、待遇改善をすべきでは。  
**答** 検討する。



**教育基金**

**問** 先のことを考えると、教育基金にお金を積む必要がある。寄付の呼びかけをしては。

**答** クラウドファンディング等を議論中だ。今ある基金とは、別種の基金になるのかもしれない。

**窓口ワンストップサービス**

**問** たらいい返しにされるという声があるが、まだあるが。

**答** 職員が、担当の窓口まで付き添うだけでも違うと思う。電話での対応時は、部署と職員名を名乗るように指示している。

**地球温暖化対策**

**問** 町としてのビジョンは。



太陽光パネル

**答** 耐震性能を考慮すると、太陽光パネルを公共施設の屋根に乗せるのは難しい。費用対効果も問題だ。新しい施設を作る時に、設置を検討する。

**図書館懇話会**

**問** 時代が変化したので、図書館の複合施設化も含め、町民参加の懇話会が必要では。

**答** 平成29年度は見送ったが、31年度から行う。



図書館学習室

**新入学児童への就学援助**

**問** 平成31年度実施は無理なのか。

**答** 私学に進学する児童の場合など、慎重に準備を行っているため、あと1年の猶予がほしい。

**審査結果**

一般会計及び3特別会計は賛成多数で、下水道事業特別会計は全会一致で認定しました。

なお、次の指摘・要望を行いました。

**指摘**

①ハラスメント研修・普通救命講習等は、全職員が受講できるように計画的に実施すべきである。

②公文書の作成等については、適正に行われるよう文書管理研修等を通じて徹底すべきである。

③決算付属説明書については、予算との整合を図り、新規事業や予備費充用等の記載を徹底するとともに、誤りがないように十分確認して作成すべきである。

④健康増進施設利用助成については、配布した利

用券が有効活用されるよう検討すべきである。

⑤ジュニアキャンプの実施については、募集定員の拡充などにより全員が参加できるように配慮すべきである。

⑥葉山の魅力を高める実行委員会補助事業の今後の進め方は、事務局体制の強化を図るとともに、将来展望を協議し、地元等の理解を得ながら進めべきである。

⑦公共施設等総合管理計画実施計画の策定に当たっては、町民の意見を十分聴取し、公共施設等総

合管理計画策定委員会に諮るべきである。

⑧空家等対策推進事業については、行政が積極的に情報収集・提供を図り空家の活用を推進すべきである。また管理不全の特定空家については、早急に町独自の対応を検討すべきである。

⑨教育関連施設整備及び修繕に関しては、将来展望を持って基金の積み増しや寄附金の集め方を検討すべきである。

⑩地球温暖化対策事業は、町施設に積極的に導入するなど取り組みの姿勢を示すべきである。

**要望**

①投票日当日の共通投票所の設置について検討されたい。

②海水浴場に関する規制の強化を検討されたい。

③特定健康診査の受診率の向上に向けた取り組みを強化されたい。

④図書館の諸課題解決に向けて、図書館懇話会を早急に開催されたい。

⑤町民の暮らしに直結する補助事業については、補助要綱の改善及び町民への周知を充実されたい。

この指摘・要望事項については、31年度の予算編成に向けた議会からの政策提言として、町長及び教育長に対し文書をもって申し入れ、文書回答を求める決定をしました。



町への政策提言書提出

# 本会議における平成29年度の決算審議結果

近藤昇一、待寺真司、飯山直樹の各議員が討論を行いました。

## 主な討論内容

### 賛成

#### 一般会計

- 例年並みの繰越金が確保できた。
- 基金の積み増しができた。
- 住宅リフォーム助成事業が拡充できた。
- 合併浄化槽への転換補助の件数が伸びた。
- 災害に備えた食生活教室を含む健康増進事業が実施できた。
- 感震ブレーカーや振り込め詐欺防止装置等の利用が広まった。
- 葉山中学校のグラウンド整備ができた。
- 町立中学校代表生徒派遣奨励費が活用された。
- ごみ処理における逗子市との共同が進んだ。
- 都市計画道路一色下山口線の道路整備が完了した。
- 魅力創生事業の進め方など、部分的に問題はありますが、全体としては認める。

#### 国民健康保険特別会計

- 基金に1億2千万円の積み増しができた。

#### 後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計

- 介護予防水中歩行教室や貯筋運動など、健康寿命を延ばす取り組みが進んだ。
- 逗葉地域医療センター内に、在宅医療の推進を図るための拠点整備された。

#### 下水道事業特別会計

- 公営企業会計移行に際し、未収金や未払金などの処理が適切に行われた。
  - ※PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）方式による民間活力の利用に向けて動き出した。
- ※公民連携

### 反対

#### 一般会計

- 給食センターの事業計画が頓挫し、無駄な予算執行になった。
- 給食センター事業や魅力創生事業などが、町民との協働になっていない。
- 生活再建ができるような徴税体制になっていない。
- 基金の過大な積み立ては望ましくない。
- 公共施設での太陽光パネル設置が足りない。
- 消防団の処遇改善ができていない。

#### 国民健康保険特別会計

- 医療費は低いのに保険料が高い。
- 少額滞納者にも保険証がきちんと渡っていない。

#### 後期高齢者医療特別会計

- 年齢差別にあたるので、制度そのものに反対する。

#### 介護保険特別会計

- 地域密着型特別養護老人施設の設置計画が頓挫した。
- 現役並み所得者が3割負担になった。
- 要支援1と2の人を対象から外した。

## 各会計別決算審議の結果

◎一般会計	賛成多数
◎国民健康保険特別会計	賛成多数
◎後期高齢者医療特別会計	賛成多数
◎介護保険特別会計	賛成多数
◎下水道事業特別会計	全会一致

# 認定

# 第3回 定例会

9月6日から10月11日まで開催し、29年度決算や30年度補正予算、陳情等の審議を行いました。

## 平成30年度葉山町一般会計補正予算(第2号)

### 歳入概要

#### 繰越金

(3億5097万円)

#### 社会福祉費補助金

(113万円)

地域包括支援センター  
施設整備に対する交付

#### 雑入

(40万円)

福祉文化会館「開館30周年記念」コンサート入  
場料

### 歳出概要

#### 基金積立金

・財政調整基金(1億円)

・公共公益施設整備基金

(2億8千万円)

#### 神奈川県町村情報システム共同事業

(536万円)

制度改正に伴うシステム改修等

#### 交通安全・防犯対策事業

(314万円)

主要幹線道路に設置している防犯カメラ6台が故障したための更新

#### 主な質疑

問 いつから故障していたのか。

答 1台は7月からで、1台は2月から不調だった。他のカメラもあるの

で、緊急に交換する必要はなかった。

問 今後の寿命見通しは。

答 塩害の強い場所などは、記録媒体をハードディスクから、寿命の長いソリッドステートに変えていく。

問 警察の捜査に役立つ

ているのに、町だけの予算で整備するのか。

答 補助金の増額は、県に要望していく。

#### 草津町親善交流事業

(56万円)

年度内宿泊1泊につき、小学生1500円、中学生以上3千円に引き上げたための増額

#### 主な質疑

問 噴火の被害に対し、この金額では足りないのでは。

答 また補正をするかもしれない。

問 草津に対し、他の支援はしないのか。

答 スキー以外のツアーなど、議論はしている。

#### 各種福祉団体等補助金

(113万円、全額県支出)

平成31年1月開設予定の地域包括支援センター(上山口の葉山清寿苑内)の施設整備補助

#### 主な質疑

問 内装のみの工事か。

答 靴を脱がずに入れるようなカウンターを作る。

問 町からの要望は。

答 相談を待つだけでなく「出向く支援」を考えている。わかりやすいように、看板を出す。

#### 会館維持管理事業

(329万円)

福祉文化会館大会議室の空調設備改修のため

#### 子ども・子育て会議推進事業

(302万円)

次期子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査を実施

#### 主な質疑

問 どのように行うのか。

答 12月に未就学児や小学生の家庭に配布し、31年3月末に結果を出す。

#### 風しん等予防接種事業

(12万円)

助成件数が当初見込みを上回るため

#### 主な質疑

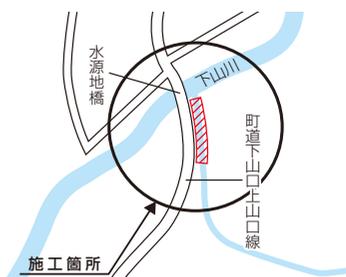
問 風しんが流行している。危険性の周知は。

答 ホームページ等で周知していく。

#### 道路維持整備事業

(2223万円)

平成31年度設立予定の認可保育所の建設予定地周辺整備



認可保育所建設予定地

#### 主な質疑

問 待機児童は解消できるのか。

答 預かる年齢にもよるが、現在41人いる待機児童は減らせると思う。

問 工事はいつからか。

答 県の開発審査会の意向がはっきりしたら、着手する。

問 周辺の道路で、園児が通るのに危険な場所があるが。

答 随時、考えていく。

## 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

### 歳入

繰越金 (2億827万円)

#### 主な質疑

問 保険料が高いが、取りすぎではないか。

答 高度医療が増え、1人あたりの金額は上がっている。制度の安定化が優先だ。

## 平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

### 歳入

繰越金 (3914万円)



草津温泉ゆもみちゃん

# トピックス



## 主な意見

一般会計補正予算が撤回され、「旧役場前バス停の整備費用70万円」を除く予算案が議会に提出されました。バス停上屋と背後の壁面を含む整備工事に對して、多くの議員から反対意見が出たためです。



旧役場バスベイ

- 町の象徴的な場所なので、ふさわしい屋根にしてほしい。
- 日射角度も考えないと、日除けの役に立たない。
- 雨避けの点では、三方を囲む形が望ましい。
- 歩道から引っ込んだ位置に屋根を作ると、バスに乗るまでに濡れてしまう。
- 緑の斜面をなくすのは惜しい。
- また後で工事をやり直すのでは、予算の無駄になる。
- 旧役場跡地は町民の財産なのだから、利用については町民全体の意見を聞くべきである。一色地区の住民の意見だけでは足りない。
- 町としては、旧役場跡地の利用も含め、バス整備を考え直すことになりました。

## 平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

### 歳入

繰越金

(1億6192万円)

### 主な質疑

**問** 本来行うべき地域サロンやミニデイサービスなどは、計画通り実施できたのか。

**答** 実施できている。

**問** 現場からは、援助が足りないという声が出ているが。

**答** 介護保険の範囲で行うか、一般会計で行うかの違いはあるが、頑張っている所は支援したい。

## 平成30年度下水道事業会計補正予算(第1号)

平成29年度の決算額確定に伴い、未収金を4260万円に、未払金を5308万円に改めるもの

## 葉山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正に伴い、趣旨規定に共生型地域密着型サービスの基準を規定する根拠条文を加える

### 主な質疑

**問** 65才を超えた障害者は介護サービスが優先になるが、要支援になると、これまで受けていたサービスが低下するのでは。

**答** 該当する施設は町にはないが、今までのサービスは受けられると思う。そのためが始まった制度だ。

## 葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

消防法令に違反がある防火対象物について、その違反内容を公表することができるとした

## 主な質疑

**問** 町内に対象は存在するか。

**答** 該当施設はない。

## 教育委員の任命

鈴木伸久氏を再任命しました。

## 人権擁護委員の推薦

秋山満江氏と小松原榮氏に決定しました。

## 陳情 議員選出監査委員の廃止と関連条例改正を求める

平成30年4月から地方自治法改正により議会選出監査委員の廃止が可能になったため、葉山町議会選出監査委員の廃止と、専門的見識を有する外部委員の登用ができるよう条例の改正を求めているものです。

(議会運営委員会で審査し本会議で決定)

## 委員会審査及び結果

「議会選出監査委員は、地域の実情や町の事業を精査し、専門家とは異なる目線を持って監査を行っている。識見を有する代表監査委員を補うことで、バランスの取れた監査体制となる。監査の実効性を上げていくためには、引き続き議会から監査委員を選出する必要がある」との意見でまると、賛成なしにより不採択となりました。

なお「議会選出監査委員における議会への還元について」の調査研究を進めるべきとの意見がありました。

## 本会議反対討論(近藤)

葉山町では、議員が監査に加わることで、質の高い監査が可能になっている。今後は、監査内容を議会にフィードバックできるように改正を望む。



消費税増税の中止と5%への減税に関する陳情書

GDPの6割を占める個人消費を喚起し、景気回復と経済成長を加速させるため、消費税の10%への増税を中止し、5%への減税を行うよう国に対し意見書を提出することを求めているものです。(総務建設常任委員会にて審査し本会議で決定)

委員会審査及び結果

「消費税の10%への増税中止について異論はないが、5%への減税については既に財源として組み込まれていることから抵抗はあるが、将来的な5%への減税には賛同できる」として採択を求め意見と「消費税そのものに反対であり、これを採択することは消費税5%を容認することになる」「そもそも5%に限定されていることに反対である」として不採択を求める意見に分かれ、賛

成少数により不採択しました。

本会議反対討論

● 委員会審査において調査不十分のまま賛成し、同僚議員に迷惑をかけたことをお詫びしたい。批判を免れないものと反省する。(近藤)

● 提案者が幸福実現党であり、消費税減税とあわせて法人税を20%程度引き下げ、贈与税、相続税や株式配当課税も廃止と主張している。日本経済を破綻に導く荒唐無稽な政策で、とても同調できない。(近藤)

● 消費税増税を中止することに異論はないが、葉山町議会は平成30年6月19日に消費税増税中止を求める意見書を国に提出している。(金崎)



特定開発事業計画対象地域における地下水脈の調査と事業がもたらしうる影響の評価を信頼性のある手法で実施し、それらの結果の情報を公開することの重要性の確認を求める陳情書

まちづくり条例で規定

する特定開発事業計画対象地域において、地下水脈を調査し、事業計画がもたらしうる影響の評価を信頼できる手法で実施し、それらの結果の情報を公開することが重要であることを確認するよう求めているものです。(総務建設常任委員会にて審査し本会議で決定)

委員会審査及び結果

担当課から「まちづくり条例では、地下水脈の調査についての規定はなく、指導する権限もない」との説明がありました。委員から「地下水脈の影響を懸念する陳情者の願意は妥当である」とし

て採択を求める意見がありました。「陳情の要旨について、どこに何を求めているかが判然とせず責任を持って判断できないため、不採択とせざるを得ない」「地下水脈を自在に制御することは不可能であり、特定開発事業による影響がどこまで及ぶのかの評価は非常に難しく、採択はできない」との意見に分かれ、賛成少数により不採択となりました。

本会議反対討論 (金崎)

● どこに調査と評価を実施させるのか、主語が不明である。  
● 要望先が明確でないまま採択することは議会として非常に無責任である。

本会議賛成討論 (近藤)

● たとえ自治体に権限がなくても、いかに住民の願意が達成できるかを追及すべき。  
● 議会として住民の不安に寄り添う対応が必要。

決議しました

町に公共施設等総合管理計画実施計画策定並びに実行にあたり、町民と議会と協働のもとに取り組みよう求める決議

- 1 実施計画の見直しにあたり、必要な予算を確保し、適切かつ十分な劣化調査を急ぐこと。
- 2 公共施設等総合計画と財政計画に関連する事業については、行政組織の横断的な作業が必要であり、その体制を検討し、組織を整えること。
- 3 実施計画の見直しに際しては、「公共施設等総合管理計画の実施に向けての提言」をいたしている策定委員会への報告を行い、その意見を尊重すること。
- 4 公共施設等総合管理計画実施計画の策定、実施に当たっては、町民・議会とも十分に意見交換を行うこと。
- 5 学校教育施設等、緊急の改修が必要な施設については、その修繕について、長期計画とは別途に予算を確保し、早急に改善に取り組みこと。

# 委員会 レポート

## 総務建設

(仮称)葉山町堀内PJ  
(事業者・大和ハウス工業株式会社)による  
老人ホーム建設計画に  
関する陳情書

(仮称)葉山町堀内PJ  
J計画における現建物の  
解体及び建設工事着工前  
に、老人ホーム経営者に  
よる運営の目的や理念、  
安全対策等について説明  
会を開催するよう事業者  
に求めているものです。  
担当課から「まちづく  
り条例の手続き上の指導  
要件ではないが、経営者  
が決まり次第、説明会を  
開くよう事業者に要請す  
ることは可能である」と  
の説明がありました。



老人ホーム建設予定地

委員長 土佐洋子

### 審査結果

委員の総意として「老人ホームの運営の目的や理念、安全対策等は近隣住民にとって非常に重要な問題であり、一刻も早く経営者を決定し、説明会を開催するよう議会も事業者に向けていくべきである」との意見でまとなり、全会一致で採択しました。

## 教育民生

2019年度における  
「重度障害者医療費助成  
制度の継続」について

65歳以上での透析導入者は、後期高齢者医療を前倒しする地域が増えたが、入院時の食事代や居住費増など個人負担が増しており、透析者・障害者負担が少なく医療を受けられるよう、重度障害者医療費助成制度の継続の2019年度予算策定を求めているものです。

### 審査結果

「年々、医療費の個人負担が増すなか、平成31年度においても、重度障害者医療費助成制度の継続及び一層の拡充を求めるときである」との意見でまとなり、全会一致で採択しました。



2019年度における  
透析治療への通院困難  
者に対する「通院支援」  
の継続についての陳情

透析者は治療のため通院が多いが、高齢化や合併症、家族送迎が困難になっている。病院等送迎は増えているが福祉車両が少ないなど、対応困難となっている。また、タクシーや福祉有償サービス利用は、介護・介助料が加わり高額になるので、2019年度予算策定にあたり、透析治療への通院困難者対策として通院支援の継続を求めているものです。

### 審査結果

「平成31年度においても、通院支援の継続及び一層の拡充と利便性を求めるべきである」との意見でまとなり、全会一致で採択しました。

なお、両陳情の審査の中で「町は、未病対策や

子どもに対する食教育など具体的に取り組み、その対策を町民へ情報発信していくべきである」との意見があったことを付記します。

委員長 窪田美樹

## 平成30年8月1日・6日 実施 町立小中学校施設の視察報告

教職員、教育委員会職員や公共施設課職員からも説明を受け、視察しました。各校は優先順位を付けられないほどに施設の老朽化が全体的に進んでおり、すべての学校において抜本的な教育環境整備に取り組んでいかなければと改めて感じました。葉山町の学校施設全体がどうあるべきか、教育の未来像、地域の将来の姿も考え合わせながらの正式な議論や、計画策定を早急にスタートすべきです。現場の声を聞き、学校側と教育委員会とで連携をとり、長期的にどうするのか、中期的・短期的にどうするのかを計画的にどうするのかを計画し、何年後にどの学校のどこが改修されるなど、子どもたちがいつまで我慢すればよいのかわかるように綿密な計画が必要です。



給食室の錆びた回転釜・はがれたタイル



福祉有償運送車

平成30年8月1日委員撮影

上山口小



校舎外壁ひび割れ



傷んだ教室の天井

長柄小



体育館2階カーペットのはがれ

南郷中



渡り廊下接続部分ひび割れ

議会広報

議会運営

9月2日に、NPO法人葉山まちづくり協会との意見交換会を行いました。その報告書については、議会ホームページをご覧ください。

意見交換会を行いました

11月2日 野外保育各団体

11月8日 葉山災害ボランティア

11月11日 葉山環境文化デザイン集団

委員長 金崎ひさ

委員長 窪田 美樹

議員の倫理に係る条例等における規定について 覚せい剤取締法違反の事件解決後、平成29年5月に、議長は政治倫理や違反行為に対する厳格な措置や、条例改正を当委員会に指示しました。国に法改正の要望も行いつつ、1年半にわたる協議を終えました。

議会基本条例

●選挙後、早期に全議員に議会基本条例と政治倫理条例の研修の義務化

政治倫理条例

●本条例を遵守する宣誓書の提出の義務化  
●該当犯罪事犯の拡大に伴う起訴後の説明会の範囲拡大

議員報酬条例

●報酬等の一時差し止めの規定の追加

11月6日には議会報告会を開催し、第4回定例会で改正を決定します。

委員長 笠原俊一

さらに、傷みの激しい箇所、学校トイレ等の改善などは、長期の公共施設等総合管理計画での修繕の取り組みとは別立ての緊急な対応を求めます。また、大規模地震が想定される状況下で上山口小学校旧校舎は間もなく築60年を迎えますが、耐震補強も行われていません。また、両中学校に2階渡り廊下があり危険性が指摘されています。建て替えか長寿命化なのか、統廃合の必要性の有無も視野にいたれた学校施設全体のマネジメントの見直しをすべき状況です。

平成30年8月6日委員撮影

一色小



屋上の補修痕や不要な腐食した配管

葉山小



錆びだらけのプール施設

葉山中



体育館屋根の傷み

総務建設

平成30年6月26日～28日

1 山口県周南市

公共施設再配置

周南市では、平成24年10月に市内の65施設を廃止休止と位置づけた「(仮称)周南市公共施設再配置計画(案)」を発表しましたが、市民や議会への十分な説明もなく、地域性への配慮が欠けているなど批判が集中し、平成25年2月に同計画案を取り下げました。その後、議会への情報提供や協議の場を設け、地域的な分析に時間を割き、市が保有する1135の公共施設の現状や課題などをまとめ、平成25年11月に県内初となる「周南市公共施設白書」を公表しました。

公共施設マネジメントの取り組み方針は「市民や議会への情報共有と市

民参画」「統合整備等の推進」で、地域別計画においては、計画段階から住民と行政が一緒になって作り上げていきます。

また、公共施設の老朽化問題を、広く市民に知ってもらうため、マンガを活用した啓発を行うなど、分かりやすい情報発信にも努めています。

葉山町でも将来の公共施設の配置や管理方法を検討する必要がありますので、

「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に国土交通省が制度を設立したもので「みなとオアシス下関」は、登録制度開始以来100カ所目として、平成29年9月17日に登録されました。



マンガでわかる公共施設再配置計画



今回の視察を参考に、公共施設等総合管理計画の目標達成のため提言を続けていきたいと思っています。

2 山口県下関市

みなとオアシス下関

「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に国土交通省が制度を設立したもので「みなとオアシス下関」は、登録制度開始以来100カ所目として、平成29年9月17日に登録されました。

歴史とロマンの息づく海峡のまちである下関市で「みなとオアシス下関」



下関市役所にて

は、関門海峡に面し、九州との玄関口である唐戸・東港・巖流島地区に位置しています。代表施設である「カモンワーフ」は、情報発信・商業拠点として多様な役割を担い、市民や観光客が多く集まる唐戸地区の中核施設です。構成施設の「あるかぽーと岸壁」は、クルーズ船や帆船などを受入れ、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘の舞台「巖流島」とは、唐戸地区から連絡船で結ばれ、訪れる方々の憩いの場として、効果的な地域振興に寄与することが期待されています。

葉山町の活性化のため、ブランド力を活かした展開を考える時期で、学んだことを参考に方策を模索したいと思っています。

葉山町の活性化のため、ブランド力を活かした展開を考える時期で、学んだことを参考に方策を模索したいと思っています。

3 福岡県太宰府市

歴史と文化の環境税

太宰府市固有の歴史的な文化遺産及び観光資源等の保全と整備を図り、環境にやさしい「歴史とみ



太宰府市庁舎前にて

どり豊かな文化のまち」を創造するため、太宰府市内にある一時有料駐車場の利用者に、一定の負担を求める法定外普通税として導入することが決定し、平成14年3月に「歴史と文化の環境税条例」が議会で可決されました。

徴収が開始されました。税率は、駐車行為1回につき二輪車(自転車を除く)50円、乗用車100円、マイクロバス300円、大型バス500円となっています。税収は年間約8千万円で、全額を歴史と文化の環境整備事業基金に積み立て、観光や産業の振興、環境の保全等まちづくりのために使用しています。葉山町でも観光資源の維持・発展のため、法定外普通税導入の研究をすべきと思います。

委員長 土佐洋子

史跡地ライトアップ事業

※決算額 ※全体事業費 9,301千円 ※うち充当額 9,301千円

年末に、観世音寺、戒壇院の境内の文化財をライトアップし、太宰府の魅力を広くアピールします。

【平成28年度事業概要】  
12月30日、31日に観世音寺、戒壇院をライトアップします。  
毎年年末の恒例行事として定着しており、来訪者にも喜ばれています。



戒壇院



観世音寺

歴史と文化の環境税使用例

# 教育民生

平成30年6月27日～29日

## 1 長野県松本市

### (1) 健康寿命延伸都市

平均寿命から健康寿命へと価値観の転換が進み「美しく生きるための生き方」が問われる時代と捉え、市民が「このまちで生きていく」と思えるまち「生きがいの仕組みづくり」を進めています。公民館や「福祉ひろば」の活動を通じ「地域力」を育み、町会と市との協働を核とした独自の地域づくりを行っています。

### (2) 行政サポート体制

地域が基盤となる地域力の向上が健康づくりの原点であり、高齢者を中心に障がい者、子どもにも優しい「だれもが住みたいまちづくり」「福祉ひろば」の運営へと繋がっています。行政のサポートとして、健康づくり推進員、健康づくり活動ボランティア、体力づく

りサポーターが、地域との繋がりを深めています。



松本市役所にて

### (3) 他団体との連携

信州大学・松本大学の専門的な支援をイベント等に生かし、市民との繋がりを図っています。企業とは「街かど健康相談」「がん検診の受診勧奨」など、集客や費用面で連携しています。

### (4) 今後の取り組み

- ① こどもの生活習慣改善事業（学校で血液検査・ピロリ菌検査を実施）
- ② 働き盛りの生活習慣病予防事業（企業に向き実践指導）
- ③ 身体活動維持向上事業
- ④ 自殺予防対策事業
- ⑤ 食育推進事業

小さな頃から日常に食品のロスへ意識を持たせ、豊富な食材をバランスよく食べる食育、住民の居場所を作ることにより、自らが足を運びやすい場づくりは、実現させたい施策のひとつでした。

## 2 長野県大町市

### 2 長野県大町市 ごみ処理施設（\*HDMシステム）の展開

#### \*微生物利用の生ごみ減容化処理システム

牛糞堆肥処理施設を利用し、HDMシステムを導入しています。市街地から20分程の山林の中にある大町市堆肥化センターへ、保育園・学校給食残渣、病院・福祉施設・宿泊施設等から出る残飯や、畜糞を回収し搬入しています。24時間後には90%以上が堆肥となり、販売・提供しています。処理費用は安価でも全町実施には戸別収集経費が高額になり、焼却処分の方が安価なため事業の拡大はしていません。

葉山町では戸別収集を行っているので、燃やすごみと生ごみ分別の徹底、収集方法が課題と感じました。



生ごみ減容化処理施設

## 3 富山県朝日町

### (1) 介護サポーター養成教室

特別養護老人ホーム等では、人員不足で休床が生じており、業務の手伝いをする「介護サポーター」を養成し、介護職員の負担軽減を図っています。受講後希望者には事業所の紹介をしています。

### (2) 高齢者福祉推進員

ひとり暮らし高齢者等



朝日まちなか体育館

の家庭へ恒常的な訪問活動を実施し、高齢者の孤独感の解消と安否確認、見守りやごみ出し等の支援をしています。予算額は少ないが、事業効果は大きいと感じました。多様な目的を持ち、専門性のある講座を開催し、仕事やボランティア活動につながる丁寧な取り組みであると思います。

### (3) 施設見学

①朝日まちなか体育館  
スポーツ、生涯学習、地域イベントや文化活動の拠点とした体育施設は、まちなかの賑わい活性化を図り、町民の健康増進に繋がる施設です。

### ②北陸街道五又路（クロスファイブ）

商工会・社会福祉協議会・自治振興会の事務所が同居し、商業振興、買い物支援対策、賑わい創出、町の情報発信拠点となる複合施設です。

### ③朝日町移住定住拠点施設「こすぎ家」

「移住定住をすすめるには、検討している人には、検討している人が気軽に立ち寄れる場が必要」として、保管されていた「料亭こすぎや」の建物を活用。相談員等が常駐し支援策のPR、住居や就業等の情報提供、生活相談等を行います。また観光案内所としての役割も果たしています。



朝日町移住定住拠点「こすぎ家」

# 平成30年 議会第3回定例会 表決結果

議案番号	議案等	議員氏名 (議席順)											結果	関連記事		
		横山すみ子	金崎ひさ	鈴木道子	飯山直樹	石岡実成	山田由美	近藤昇一	窪田美樹	畑中由喜子	待寺真司	笠原俊一			土佐洋子	伊東圭介
議案第20号	決算の認定について(平成29年度葉山町一般会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	○	× 討論	×	○	○ 討論	○	○	※議長に表決権はありません。	認定	P 2
議案第21号	決算の認定について(平成29年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	○	× 討論	×	○	○ 討論	○	○		認定	P 2
議案第22号	決算の認定について(平成29年度葉山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	○	× 討論	×	○	○ 討論	○	○		認定	P 2
議案第23号	決算の認定について(平成29年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	○	× 討論	×	○	○ 討論	○	○		認定	P 2
議案第24号	決算の認定について(平成29年度葉山町下水道事業特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○	○		認定	P 2
議案第31号	平成30年度葉山町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○	○		可決	P 8
陳情第30-10号	陳情 議員選出監査委員の廃止と関連条例改正を求める	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		不採択	P 9
陳情第30-14号	消費税増税の中止と5%への減税に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		不採択	P10
陳情第30-17号	特定開発事業計画対象地域における地下水脈の調査と事業がもたらしうる影響の評価を信頼性のある手法で実施し、それらの結果の情報を公開することの重要性の確認を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	○ 討論	○	×	×	×	×	不採択	P10	

○は賛成 ×は反対

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第15号	平成30年度葉山町一般会計補正予算(第2号)の撤回について	許可	P 9
議案第16号	平成30年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	P 8
議案第17号	平成30年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	P 8
議案第18号	平成30年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	P 9
議案第19号	平成30年度葉山町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	P 9
議案第25号	葉山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	P 9
議案第26号	葉山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第27号	葉山町火災予防条例の一部を改正する条例	可決	P 9
議案第28号	教育委員会委員の任命について	同意	P 9
議案第29号	人権擁護委員の推薦について	可決	P 9
議案第30号	人権擁護委員の推薦について	可決	P 9
議会議案第30-8号	町に公共施設等総合管理計画実施計画策定並びに実行にあたり、町民と議会と協働のもとに取り組むよう求める決議	可決	P10
陳情第30-12号	2019年度における「重度障害者医療費助成制度の継続」について	採択	P11
陳情第30-13号	2019年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情	採択	P11
陳情第30-16号	(仮称)葉山町堀内P J(事業者:大和ハウス工業株式会社)による老人ホーム建設計画に関する陳情書	採択	P11



	質問議員	掲載した質問事項
P17	近藤昇一	○国民健康保険 ○まちづくり条例 ○里山保全 ○鳥獣被害防止計画
	畑中由喜子	○災害対策
P18	石岡実成	○住んで良かったと思える町“葉山”
	窪田美樹	○高齢者福祉 ○葉山町地域防災計画 ○横須賀石炭火力発電所
P19	待寺真司	○安全安心のまちづくり ○教育環境の整備
	鈴木道子	○町民の健康 ○子育て支援策 ○防災
P20	山田由美	○庁舎内女性用トイレ ○安定ヨウ素剤の事前配布 ○避難所の物品 ○自転車保険 ○まちづくり条例
	笠原俊一	○イノシシ捕獲の支援 ○五輪に向けた応援体制 ○退位と即位に向けて
P21	金崎ひさ	○学校施設の老朽化 ○協働
	飯山直樹	○株式会社 湘南国際村協会
P22	横山すみ子	○学校教育施設老朽化 ○公共施設等総合管理計画 ○在宅医療介護連携事業
	土佐洋子	○総合計画 ○東京五輪に向けて ○都市計画マスタープラン

# 近藤昇一 短期保険証発行の改善を 町長 訪問して説明したい



## 国民健康保険

**問** 国民健康保険証の交付要綱を改悪し、短期保険証を大量発行し、3カ月の期限内に保険証が渡らない世帯が70世帯も生まれました。厚労省の通知は「電話連絡や家庭訪問等を実施し；遅くとも短期の被保険者証の有効期限までには手元に届くよう努める」としている。交付要綱の改正や家庭訪問の考えは。

**町長** 訪問して説明する機会をつくりたい。

**問** 全国知事会が、子育て支援の観点から子どもにかかる国民健康保険料の均等割の軽減を国に要請している。これに踏み

出す自治体も生まれていて。葉山も検討すべきでは。

**町長** 環境を整える子育て支援をした。現段階では考えていない。

## まちづくり条例

**問** まちづくり条例に、5年ごとの見直しを盛り込んでどうか。

**町長** 担当者と話をして判断したい。

**問** まちづくり条例上の公聴会に対する町の見解を明記すべきでは。

**町長** 十分承知している。検討中である。

**問** ペット霊園やレンタルボックスをまちづくり条例に位置付ける考えは。

**町長** できれば、町独自で規制をし

たい気持ちだ。

## 里山保全

**問** 町民等の里山保全活動の支援制度の創設を。

**町長** 窓口を環境課に集中しガイドにあたりたい。

## 鳥獣被害防止計画

**問** 猪による農作物被害と人的被害の防止策が急務。今後の取り組みは。

**部長** 捕獲部隊への支援を重点に取り組む。



国民健康保険窓口

# 畑中由喜子 安定ヨウ素剤は事前配布が必要では 総務部長 慎重に対応したい



## 災害対策

**問** 町が備蓄している安定ヨウ素剤は万が一の原子力災害に備え、事前配布が必要ではないか。

**部長** 研究しているところで、慎重に対応したい。

**問** 河川管理は近年、想定を超える豪雨も予想され、対策強化が必要では。

**町長** 町防災計画に基づき、計画的に巡視し、護岸等管理施設の保全状況等、維持管理及び風水害等に対応していく。

**問** 町管理の支流で一部護岸が民地となっているが、河川管理上大きな問題となるのではないか。

**部長** そのような状況もあり、万が一壊れたら当

然、町が復旧すべきと認識している。

**問** 葉山町には急傾斜地も多く、豪雨や大地震による土石流や地滑りの心配がある。山の保全是進展が見られず、残念だ。

すでに森林組合は解散し、山の管理の担い手がない。町では危険木伐採工事費等の助成をして

いるが、条件が厳しく限られた場所しか適用されないのかと思う。もつと緩やかに広げるべきでは。里山の整備が手詰まりな状況で、町としてできることを進めて欲しいと思うが。

**部長** 必要に応じて改正や要綱の見直しを進め

ようと考えている。

**問** 現在、町内13カ所に災害用指定井戸があるが、災害時の停電の場合、発電機の手配が必要では。

**部長** やり方について具体的な検討をしたい。その他の質問 下水道事業について・公共施設等総合管理計画について



安定ヨウ素剤

# 石岡実成 町長 一生懸命取り組んでいく 交通渋滞対策にもっとお金を掛けるべき



**住んで良かったと思える町**

**問** 週末の全町的な交通渋滞は非常に大きな問題だ。予算を掛けてでも改善すべきでは。

**町長** 現状、公共施設等の再整備が優先で難しいと判断している。とは言え、国、県への働きかけや町ができることは一生懸命取り組んでいきたい。

**問** 地球温暖化の影響で、仮に海岸線が消滅したとした際の被害額など想定したことはあるか。

**部長** 試算したことはなく、今後も想定することは難しい。

**問** 経済的なダメージというよりも、地球温暖化の影響は、異常気象や生

態系の崩壊、感染症の拡大など日常生活に大きな変化を与えつつある中で、町として町民へ啓発すべき施策、ガイドラインなどを構築するべきでは。

**部長** パンフレット等の制作を含め、今後どのような形で進めるべきか議論を重ねていく。

**問** 学校教育の場でも、地球温暖化に対する問題意識を持たせる施策を。

**部長** 現在、小・中学校の社会科学や理科の時間、また、総合的な学習の時間でも取り組んでいる。提案された資料の活用については、校長会議等を通じて検討していく。

**問** 全町民参加型のイベントを提案したい。

**部長** 時期の問題などあるが、将来的に町民がこぞって参加できる行事があればいいと思う。提案

資料については、ぜひ参考にする。



渋滞緩和対策を

# 窪田美樹 緊急通報システム対象者の拡大は 福祉部長 相談で対処したい



**高齢者福祉**

**問** 緊急通報システム対象者に慢性疾患等があり、項目を外し対象者拡充は。

**部長** 制度はひろげ、必要な方には対応している。

**問** 疾患がはずれたのか。

**部長** はずしていないが、相談し対処したい。

**問** 更新時、徘徊者の早期発見につながるGPS機能通報システム導入は。



緊急通報システム

**葉山町地域防災計画**

**問** 新たに予算を組まずとも綱変更で撤去のみでも補助対象とし、危険ブロック塀撤去推進を。

**部長** 国の動向をみて、補助額増等を検討したい。

**問** 地域防災計画にもある\*HSVNの活動は重要だ。連携は。

**町長** 社会福祉協議会、防災担当三者で協議する。

**問** HSVNのホームページは防災関係に役立つ。

**町長** リンクを掲載する。

**問** 職員連携にも役立つ、災害時友好都市の模索は。

**町長** 選定等、研究する。

**問** 安定ヨウ素剤備蓄は。

# 待寺真司 町長 町としての目的は達成した 防犯カメラ設置の今後の方針は



## 安全安心のまちづくり

**問** 町内会・自治会防犯カメラ設置事業の補助金は、神奈川県が31年度はカットする方針だ。修繕・維持・管理にも負担が重く、監視強化につながらず、状況は好ましくない。町の今後の方針を伺う。

**町長** 各地域、住宅街で町内会・自治会が必要なしと判断があれば、補助制度の目的は達したものであると思うので、その視点で検討する。町としては幹線道路や交差点に設置するという目的は達成した。

**問** 管理良好な空家は、介護事業者等への紹介を町も積極的に行うべきだ。空家バンク実施や宅建協

会との協定締結は。

**部長** 30年度中を用途に、速やかに締結したい。

**問** 管理不全の特定空家に関して、非常勤職員や専門家を配置して対応しないと一向に進展が見られないと懸念するが。

**部長** 環境衛生上の影響、防災・防犯面の懸念もあるが、所有者への連絡に留まっており、進みが悪いと感じている。他の事例を参考に模索していく。

**問** 災害に備えた食生活教室は、大変好評だった。事業の継続を望むが。

**町長** 被災時の食

に对应できる力は大変重要であり、実施継続を検討する。

## 教育環境の整備

**問** 小中学校トイレ改善と、冷風機を導入するなど給食調理員の労働環境改善は、喫緊の課題だが。

**部長** 調査報告書として、トイレ改修工事費や整備方針を纏めているところだ。給食室についても老朽化した厨房機器の交換等検討している。



自治会設置の防犯カメラ



# 鈴木道子 町長 風しん流行への町の対策は 予防接種など注意喚起を強化する



## 町民の健康

**問** 風しんが流行している。町長自ら予防接種を受けたか。町の対策はどうか。

**町長** 記憶がないので、風しんとインフルエンザ予防接種を受ける。町は19歳以上の女性とそのパートナーと妊婦のパートナーに風しん予防接種費用の助成を行っている。注意喚起を強化していく。

**部長** 町の安全衛生委員会で再度周知していく。

**問** 胃がんリスク検診を中学2年生全生徒に実施の自治体が増えてきた。助成対象枠の拡大をすべき。

**町長** 他市町の動向を把握し進め方を検討する。

**問** 国は高年齢者雇用安定法の改正案提出予定で継続雇用の義務を70歳まで引き上げる方向だ。人生百歳時代。人間ドック・脳ドックの助成枠の拡大を。

**町長** 社会保険からの助成者などを精査して、検討をしていく。

## 子育て支援策

**問** いじめ防止の取り組みとしてカナダから始まった「ピンクシャツ運動」の取り組みをすべきだが。

**教育長** 31年度は中学校でも特別な教科道徳がスタートする。題材として触れることは十分可能だ。協議していく。

**問** 暑さ対策について大和市のようなガイドラインが必要だがどうか。

**部長** 検討していく。

**問** 重いランドセルが問題になっているが対応は。文科省からの通知内容を踏まえ、さらに適切に進めていく。

## 防災

**問** 液体ミルクの省令改正があった。備蓄すべき。

**町長** 災害用に検討する。



予防接種

山田由美  
総務部長  
女性用トイレに荷物置き場は  
検討したい



庁舎内女性用トイレ

**問** 庁舎内女性用トイレは昼休み終盤に込み合うが、荷物置き場がない。ポリタンクのある片隅に、廃物利用で設置できないか。

**部長** 検討したい。

**問** 多くの女性が使用時の音消しのために、水を二度流している。その水の無駄と、擬音発生装置の電気代と、どちらが経済的か。

**部長** 擬音装置だと思う。

**安定ヨウ素剤の事前配布**  
**問** 万が一、放射能災害が発生した場合、それから安定ヨウ素剤を配布しようとしても、間に合わない可能性が高い。希望

者だけでも、事前配布できないか。保管や服用は、自己責任でいいのでは。  
**部長** 事前配布は難しい。分散備蓄や災害時の配布方法等を検討する。

避難所の物品

**問** 防災訓練で避難所宿泊を体験して、蚊取り線香のような虫除け対策、安眠のための耳栓、段ボールベッドや間仕切り等の重要性に気がついた。備えはどうなっているか。

**部長** 個人で持参できる物品は、してほしい。段ボールベッドや間仕切り支給は、県を通じ業界団体と協定を交わしている。

自転車保険

**問** 県が、自転車事故に備えた損害賠償保険加入を条



庁舎内トイレ

例化する様子だが、町としての周知は。  
**部長** 情報を共有し、方向性を決めたい。

まちづくり条例

**問** まちづくり条例を時代に合わせて改正するため、町民から広く意見を集めてはどうか。  
**町長** 専門家の意見を聞くことにしたい。

笠原俊一  
環境部長  
イノシシ捕獲の近隣市との協議は  
協議会はあるが、行動には至っていない



イノシシ捕獲の支援

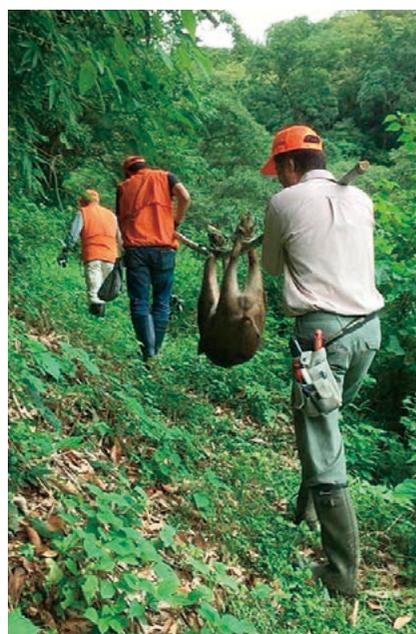
**問** 増加するイノシシの捕獲にむけ町農業者を中心にわな猟の会が結成された。町内山間部338カ所に罠を仕掛け、30人の隊員が毎週2回点検や捕獲活動をしている。活動範囲は町内に限られ、生息区域の二子山山系や森戸川源流は逗子市も含まれる。近隣市との協議はどのようにしているのか。

**部長** 二子山山系に隣接している2市1町の中では葉山町だけが、捕獲実施隊という形で国の支援を受けながら活動している。県政総合センターが窓口となり逗子市・横須賀市とともに協議会を開

催しているが、具体的行動には至っていない。  
**問** 捕獲後の処分や隊員の年間報酬3千円で、再検討が必要では。  
**部長** 非常勤特別職としては大変少額の報酬額だが、ほかに活動費として国からの交付金を充てている。

**五輪に向けた応援体制**  
**問** 東京五輪による葉山の経済波及効果は。  
**町長** フードサービスなど限られた業種だが、葉山の魅力を発信するいい機会だ。

**退位と即位に向けて**  
**問** 天皇陛下の退位と即位に際し、御用邸の町として記念にプレミアム商品券を発行しては。  
**町長** 盛り上がると思う。検討する実行委員会には議員の代表も出ていただきたい。



捕獲したイノシシ

### 金崎ひさ 町長 捨てることも1つの仕事だ



## 学校内の不用備品の廃棄は

組み合わせながら、近々に行えることはしていく。

ないと思う。

**問** 山口小学校旧校舎の今後の対応は。

**問** 葉山の魅力を高める実行委員会の仕事として既にある棚田整備も町として投げかけてはどうか。

**部長** 「ヤシの実」の移転等緊急性がある。

**部長** 仕組みづくりが大

**問** 宿泊避難訓練場所の体育館2階が不用品置き場になっている。廃棄は。

**問** 学校給食室の劣悪な労働環境の改善は。

**問** 補助金終了後はどうするのか。

**部長** 定期的に処分しているが、うまく進まない。

**部長** スポットクーラー等検討していきたい。

**部長** 二子山山系等団体の協力を依頼する予定だ。

**町長** 捨てることも1つの仕事。取り組むべきだ。

**問** 協働のまちづくりとして、

**問** 協働のまちづくりとして、

**問** 土砂災害警戒区域の避難路が通行できなくなつた時の代替地は。

**問** 協働のまちづくりとして、

**問** 協働のまちづくりとして、

**部長** 逗葉高校等に誘導。

**部長** いろいろな側面から考えていく必要がある。

**部長** いろいろな側面から考えていく必要がある。

**部長** 予算化しての大きな補修はしていない。

**問** 「一緒にやらない協働」に

**問** 「一緒にやらない協働」に

**問** 学校トイレの改善は。

**問** 「一緒にやらない協働」に

**問** 「一緒にやらない協働」に

**教育長** 老朽化や、不備もあると認識している。

**問** 「一緒にやらない協働」に

**問** 「一緒にやらない協働」に

**問** 環境整備としてすぐ

**問** 「一緒にやらない協働」に

**問** 「一緒にやらない協働」に

**教育長** 全体修繕計画を

**町長** 直接的なもの

**町長** 直接的なもの



不用備品の山

### 飯山直樹 条例に定める資産処理に該当しないか 政策財政部長 額面価値は変化しない



さらに遅れている。報告のタイミングが遅くないか。

**部長** できていない。

**部長** 重要な事案であり、時期を逸せず情報伝達したと考えている。

**問** 負債が5億3550万円残っているが、連帯保証の有無は。

**問** 新公会計導入により、貸借対照表、損益計算書の整備が必要となる。貸借対照表上の株式が減資により棄損した場合、現在価値により

**部長** 確認する。

**問** 株式会社 湘南国際村協会は、葉山町等の出資により25億円の資本金で設立された。経営がうまくいかず減損・減資により出資金の大半が棄損し、葉山町では出資金額の内700万円以上が損失となる。条例で定める重要資産の処分にあたる可能性はあるが。

**問** 新公会計導入により、貸借対照表、損益計算書の整備が必要となる。貸借対照表上の株式が減資により棄損した場合、現在価値により

**部長** 今後は経営状態・改善計画の進捗を注視する。

**問** 損益計算書では損失計上が必要になるはず。その場合、処分に該当するはずだが、諸表の整備はできているか。

**問** 過去に配当等により回収ができて

**問** 過去の配当等により回収ができて

**問** 過去に配当等により回収ができて

**問** 過去の配当等により回収ができて



湘南国際村協会

# 横山すみ子 町長 学校校舎の老朽化対応を急いで 迅速に取り組んでいく



## 学校教育施設老朽化

**問** 教育民生常任委員会で8月1日、6日に全小中学校を視察。校舎等の老朽化への対応を求める報告書を町長に渡した。数年前の各校への空調設置は町長の英断だった。今回のトイレ改修を含む学校施設等の老朽化への対応も、町長が積極的に取り組んでほしい。

**町長** 空調設置は教育委員会からの希望もあったが、議会からの必要だとの要望、提案で、教育委員会も私も共通認識が生まれたことが大きかった。今回もこのように意見をもらえると、教育委員会も必要なお金をお金



和式トイレの改善を

つけようとするだろう。子どもたちが快適に過ごせることを第一義に、できることは迅速に取り組んでいくという姿勢で臨んでいきたい。

**教育長** 学校施設は、子どもたちの学習、生活を維持する場だ。やはりトイレの優先順位は高い。  
**公共施設等総合管理計画** **問** 公共施設の劣化診断と取り組み体制の強化について、町長の考えは。  
**町長** 31年度は人の補強と、科学的指標に基づく

**在宅医療介護連携事業** **問** 在宅医療介護連携室の相談状況は。  
**部長** 葉山町からの相談は、延べで105件だ。

**問** 「リビング・ウィル」の取り組みは。  
**部長** 仮称「人生最終段階における私の医療の希望」のひな型を作成。31年度に葉山スタイルを配布できるよう準備中だ。

**総合計画** **問** 「かながわプラごみゼロ宣言」を受けて、町が率先してプラごみゼロを発信していけないか。  
**町長** これを機に取りまとめて、町の宣言またはイニシアチブをとれるような形を何か発信できるように努めていきたい。

**問** 性的少数者のカップルをパートナーとして公的に認めるパートナーシップ制度の導入は。  
**部長** あらゆる人々が、個人として尊重され、理解を得られる社会になるように引き続き研修や啓発活動に努めていきたい。

**東京五輪に向けて** **問** セーリングワールド

# 土佐洋子 町長 プラごみゼロ宣言の発信は 発信に努めたい



## 総合計画

**問** 「かながわプラごみゼロ宣言」を受けて、町が率先してプラごみゼロを発信していけないか。  
**町長** これを機に取りまとめて、町の宣言またはイニシアチブをとれるような形を何か発信できるように努めていきたい。

**問** 性的少数者のカップルをパートナーとして公的に認めるパートナーシップ制度の導入は。  
**部長** あらゆる人々が、個人として尊重され、理解を得られる社会になるように引き続き研修や啓発活動に努めていきたい。

**東京五輪に向けて** **問** セーリングワールド



クジラからのメッセージ

カップル等を町内で大型ビジョンでパブリックビューイングできないか。  
**部長** より身近に競技を感じてもらえるので非常に有効。設置できるか検討する。  
**問** 葉山ヨットフェスに2400人の来場者と聞いているが、課題は。  
**町長** 町としての発信は足りなかったが、京急の広告が絶大で、多くの方々が来てくれた。マリナーのメンバーに協力していただくということ、2019年の取り組みとして。  
**都市計画マスタープラン** **問** 狭隘道路整備の現状は。  
**部長** セットバックの制度設計ができていない。  
**問** 防災の観点からも制度作りが必要ではないか。  
**部長** 無償でセットバックしてもらえない場合、町では少なくとも舗装工事等について積極的に協力しているの、できる限り拡幅整備する方向で努力していきたい。

## まちづくり協会との意見交換会

9月2日、協会所属団体の内12団体が参加し開催しました。主な意見は次の通りです。

- イノシシが問題だ。
- 里山を再生したい。整備してから植樹活動を始めたが、人手も予算も必要だ。
- 森戸川上流の砂防ダムは、一昨年、崖崩れが起きたままになっている。
- 役場の縦割り行政の弊害が見られる。部署を超えて情報共有を。
- 一色小学校新館に、昔の道具類が置いてある。その展示場所を考えてほしい。



まちづくり協会の方々

- 音楽に触れていると、たとえ認知症になっても、進行が遅くなる。
- 湘南国際村について、自然保護や活用を考えている。ハイキングコースの整備など、町おこしにつなげたい。
- まちづくり展も18回を迎えたが、町としての取り組みが少ない。ホームページも立ち上げたので、町からの支援がほしい。
- 観光向けの宣伝をしてほしい。
- シルバー人材センターは人手不足だ。植栽の注文にも応じきれない。
- 海沿いの道路に積もった砂や、浜が波で削られたりすることの対応を。
- 昔の災害を、どの高さまで津波が来たかなど、石碑として残すことが重要だ。防災意識につながる。
- 「住民との協働」事業に対して、予算の確保を願う。
- 畑をやる人が減っている。支援できないか。
- 海岸通りを、歩きやすく整備してほしい。
- 京急ストアの裏手が町所管になり、荒れ放題になっている。
- メダカの会では、若い人がいないのが問題だ。
- 下山川の調査をしたが、知識がないと難しい。水質検査や生き物などの調査をして、手を打つべき。
- 白石地区に、大きな空き地が3カ所ある。この開発が大きな問題だ。
- まちづくり条例の見直しについて、意見交換会を開いてほしい。
- 逗子の市民交流センターのような、夜間も使える場所が欲しい。ネット予約もできるとよい。



意見交換会の様子

## 議員懇談会（町長召集による会議）

7月30日開催

逗子市との容器包装プラスチック共同処理の延期について

平成31年4月から実施に向け協議を進めてきたが、搬出方法が確定できないことやコストの折りが、現時点でつかないために、1年間延期する

## 議員研修会

9月3日開催

議会では、毎年、議員としての資質を高めることを目的に議員研修会を実施しています。

30年度は、法政大学副学長・法学部教授の廣瀬克哉先生をお迎えし「葉山町議会基本条例の見直し」



議員研修会

を行ったところ、環境省が定める基準値を超えるヒ素及びセレンが2地点で検出されたとの報告がありました。汚染土壌の処分については、諸法令に準拠して適正に処理し、工事についても万全の体制で行っていくとのことでした。

10月12日開催  
公共下水道工事に伴う土壌分析調査結果について

下山口地区（葉山処理区下山口幹線築造工事）において建設発生土を処理するために土壌の検定

し「議会のあり方を市民にどう伝えるか」と題してご講演をいただきました。

まず全国の自治体議会の現状報告があり、2006年頃から始まった議会改革の波により任意条例としては異例の速さで普及し約800の議会が議会基本条例を制定している。

議会改革の実行メニューは、当然になり500〜600の議会が議会報告会を実施し「議会への市民参加」理念の普及活動が行われている。また、一問一答の反問権、自由討議などの

議長 伊東圭介

議長 伊東圭介

## 表紙説明

二子山山系自然保護協議会「寺前谷戸復元プロジェクト」のひとつで、休眠していた田んぼを耕してきました。9月23日は、稲刈りが行われました。数日前の大雨の影響が残る中、町内外多くの方が参加され、協会の方々の日々積み重ねられた作業と、自然の恵みに感謝しました。子どもたちは、虫採りにも夢中です。

虫採りに夢中



稲刈りの様子

## 議会交際費支出状況

(平成30年4月～平成30年9月)

内訳は次のとおりです。

(詳しくは議会ホームページをご覧ください)

種別	件数	金額 (円)
慶祝金	3	45,000
弔慰金	0	0
見舞金	0	0
会費	4	40,000
接遇費	2	46,410
その他	2	26,000
合計	11	157,410

## 町長行政報告

7月6日付けで、葉山町を被告とする訴状が横浜地方裁判所に提出されました。

内容は、下水道法に基づく排水設備の設置義務に違反する土地所有者等に対して、葉山町が措置命令を発令しないことが違法であるとして確認を求めたものです。

町としては、原告の主張には理由がないことから、応訴することとしました。

## 編集後記

待たせたいところですが、五輪本番での活躍を期待したいところです。

9月にセーリングのワールドカップが江ノ島で開催されました。東京五輪のプレプレ大会という位置づけで、44の国と地域から約500人の選手が参加し、10種目が江ノ島から葉山・長者ヶ崎までの5海面で熱戦が繰り広げられました。日本チームと、葉山町内で事前合宿を行っている英国チームがメダルを獲得することができ、31年以降、そして

鎌倉由比ガ浜海岸に漂着したシロナガスクジラの赤ちゃんの胃から、ビニール片が見つかったことです。死因との関連はないようですが、黒岩知事は「かながわプラごみゼロ宣言」を打ち出しました。ぜひ葉山でも、五輪に向けてプラごみゼロを目指せればと思います。

10月19日記

土佐洋子



## 録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

(内線421)

議長 伊東 圭介  
議会広報常任委員会

金崎 ひさ 山田 由美  
飯山 直樹 窪田 美樹  
待寺 真司 笠原 俊一  
土佐 洋子

## 平成30年第4回定例会は

11月29日(木)

からの予定です

皆さまの傍聴をお待ちしています